

## 板橋区ゼロカーボンシティ表明について

環境省では、2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを旨を公表した地方自治体をゼロカーボンシティとし、表明した地方自治体からの報告をうけて、環境省のホームページで公表している。

区では、令和3年4月に策定し、令和7年度までの計画期間である「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」において、ゼロカーボンシティをめざすこととしている。令和3年度中に策定する「板橋区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）2025」により、「板橋区地球温暖化対策実行計画」全体が完成するため、令和4年度から実施する具体的な取組とともに、下記のとおりゼロカーボンシティ表明を行った。

### 1 表明文

裏面のとおり

### 2 表明日

令和4年1月26日（水）

令和4年度当初予算案プレス発表に伴う区長記者会見にて

### 3 特別区の表明状況

板橋区は15番目に表明。内訳は以下のとおり。（表明順、1月31日時点）

葛飾区、世田谷区、豊島区、足立区、港区、中央区、新宿区、荒川区、北区、江東区、墨田区、中野区、杉並区、千代田区、板橋区

### 4 ロゴマーク

2050年にゼロカーボンシティ実現をめざすことを表現し、広く浸透していくことを目的とするもので、2050年に社会の担い手となる子供たちにも、親しみやすいデザインとするとともに、区の取組を身近に感じられる存在として、発信していく。

デザインは、デザイナー・造本作家として世界的に活躍されている駒形克己氏によるもので、モチーフはカーボンの「C」、シンボルカラーは、二酸化炭素を吸収する海と空のバランスをイメージする青としている。また、ロゴマークは、二酸化炭素を吸いとり、消化・吸収するキャラクターであり、その中央に社会の意識、個々の意識をハートで表現している。

【日本語バージョン】



ゼロカーボン  
いたばし2050

Eat Carbon up to ZERO

【英語バージョン】



ZERO CARBON  
ITABASHI 2050

Eat Carbon up to ZERO



# ゼロカーボン いたばし2050

Eat Carbon up to ZERO

近年、世界中で地球温暖化による異常気象が発生し、日本においても、これまで経験したことのない集中豪雨や強大化した台風などにより、甚大な被害が発生しています。このまま地球温暖化が進むと、その影響は様々な場面で顕在化し、ますます深刻化していくことが科学的に示されており、世界は今、気候非常事態に直面しています。

板橋区は、人と緑を未来へつなぐスマートシティを推進し、持続可能な社会を構築するため、気候非常事態を宣言し、あらゆる主体と連携・協働して社会全体の自主的な行動変容を促すとともに、エコロジー、エネルギー、エコノミーが調和した取組により、2050年に二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすことをここに表明します。

- 1 エネルギーの効率的な利用をすすめ、再生可能エネルギーを最大限活用するまちづくりに貢献します。
- 2 環境配慮型製品やサービスの普及に努め、限りある資源の循環的な利用をすすめます。
- 3 持続可能な森林の整備と適正に管理された森林資源の活用を推進するとともに、緑と調和したまちづくりに取り組みます。
- 4 スマートインフラやデジタルトランスフォーメーションを積極的に活用し、地球環境を考えた持続可能な活動を実践します。
- 5 区民・事業者をはじめとしたオール板橋の協働により、気候変動の影響による被害を防止・軽減し、安心・安全な社会の構築に貢献します。

令和4年1月26日 板橋区長

坂本 健